

2 保証人連絡会費

地区会場費等

全体総括

- 開催期間 2022年9月3日～10月1日
- 開催地 全国19会場
- 参加者 保証人合計 学部1,319世帯(1,382名)

全国各地区会場(17会場) 198世帯(213名)
 東京・横浜会場(2会場) 1,121世帯(1,169名)
 教職員 36名(全国各地区への派遣者数)

4. 今年度の結果と特徴

- ①昨年と同様に新型コロナウイルス感染防止の対策として1世帯1名での参加にご協力いただき、学部全体の出席世帯数が1,319世帯と前年に比べ113世帯増となりました。在籍者数に対する出席率は19.4%と昨年より1.5%増であった。学年別では、1年生の保証人が最も多いものの394世帯で前年比21%増、2年生が274世帯で1.1%減、3年生が297世帯で17.3%増、4年生が156世帯で0.6%減であった。
- ②大学会場は、世田谷キャンパスでは前年比15.4%増で938世帯の方が出席され、横浜キャンパスでは、前年比9.9%減の183世帯の出席者となった。
- ③地区会場については、昨年と同じ17会場を設定・実施し、今年の出席世帯数は前年より3.1%増の198世帯となった。
- ④大学会場について、世田谷キャンパスでは学科(学部)別説明会より開始し、その後、学年別説明、懇談会を実施した。懇談会では、成績についての相談や、TAP、就職活動、インターシップ、大学院進学等について、様々な話題が寄せられ、個別面談も多数あった。
- ⑤地区会場では、コロナ禍における大学の対応や、就職についてより詳細な説明する等、前年度よりも内容の充実した連絡会となった。また、東京都市大学校友会の地方支部の役員に出席願ひ、各地区における卒業生の就職状況や活躍状況を説明していただき、会場によっては県の労働雇用課の方にご出席いただいた。



詳細については、後援会誌TCU-COM67号(2023年2月発送済)をご覧ください。

大学会場学科別出席世帯数

学 科	2022	2021	学 科	2022	2021
機械工学科	94	78	情報通信工学科	1	10
機械システム工学科	81	77	知能情報(経営システム)工学科	57	61
電気電子通信(電気電子)工学科	110	91	環境創生学科	51	49
医工学科	42	34	環境経営システム(環境マネジメント)学科	36	44
応用(エネルギー)化学科	53	43	社会メディア学科	52	50
原子力安全工学科	47	34	情報システム学科	44	60
自然科学科	37	40	都市生活学科	116	95
建築学科	102	76	児童学科	55	50
都市工学科	77	67	合 計	1,121	1,016
情報科学科	66	57			

3 大学行事協力費援助

大 学 行 事 名	援 助 対 象	金額(円)
1 体育祭(5月4日～5日)	体育会	1,027,248
2 横浜祭(6月11日～12日)	横浜祭実行委員会	1,400,000
3 世田谷祭(11月5日～6日)	世田谷祭実行委員会	900,000
4 世田谷祭 後援会特別賞	鉄道研究部他3団体	20,000
合 計		3,347,248

※体育祭では、当初計画を超えた参加申込(延べ608名)があり、熱中症対策飲料および参加記念品の配布数が増えたため予算額を超過した。

4 学生厚生援助費

援 助 内 容	金額(円)
1 武道場改修援助	7,964,000
2 証明書学外発行サービス導入費用補助	5,000,000
3 朝活応援企画100円朝食	3,847,000
4 モバイルアプリ保守費	1,000,000
5 健康相談ダイヤル	1,000,000
6 保証人出席確認システム通知パスワード送付	419,000
7 学食利用促進企画(オフピークランチ)*	121,840
合 計	19,351,840

※学生食堂混雑緩和対策 デザートドリンク等進呈



1. 武道場改修援助(マット)



2. 証明書学外発行サービス

5 会報発行費

会 誌 号	金額(円)
1 TCU-COM66号刊行(8月中旬全会員へ送付)	908,600
2 TCU-COM67号刊行(2月上旬全会員へ送付)	2,189,000
合 計	3,097,600

※偶数号は文書メイン(総ページ数14)、奇数号は取材メイン(総ページ数18)